

能「橋弁慶」
角当行雄・角当直隆
(撮影:吉越立雄)



能

橋弁慶

角当行雄(観世流梅若会)

狂言

墨塗

【すみぬり】

三宅右近(和泉流)

第一部

12時30分開場
13時00分開演

第121回

川崎市定期能

2020年12月12日(土) 会場:川崎能楽堂

入場料:各部 4,000円(全席指定) U25 3,000円

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。
購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

能

夜討曾我

梅若実(観世流梅若会)

狂言

清水

三宅近成(和泉流)

第一部

15時00分開場
15時30分開演



能「夜討曾我」梅若実
(撮影:吉越研)

【チケット発売日】

2020年11月6日(金)午前9時より川崎能楽堂 電話・ホームページにて発売(先着順) *残券があれば、翌日川崎能楽堂窓口でも販売いたします。

*販売座席につきましては、感染症対策を講じた上で定員100%で販売いたします。 *回線混雑のため、電話が繋がるまでにお時間をいただく場合がございます。

※お電話もしくはホームページで申込完了後、代金を振込でお支払いいただく際は、郵便局備え付けの払込取扱票に下記内容をご記入の上お振込ください。

入金を確認後、チケットを郵送いたします。(チケット郵送料、振込手数料はお客様のご負担となります。)

☆口座記号:00260-7 口座番号:0021528 ☆加入者名:公益財団法人川崎市文化財団 ☆代金:●,●●●円(送料の切手代●●円を含む)

☆通信欄:第121回定期能 チケット●枚 ☆ご依頼人:お客様のご住所・お名前 ※●の数字はお申込の際にお伝えいたします。

【チケット取扱・お問合わせ】

川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37 窓口・電話 9:00~17:00(水曜定休日)

川崎市文化財団ホームページ <https://www.kbz.or.jp/event/noh/20201212/> *ホームページからお申しいただく場合、座席指定はできません。



主催 公益財団法人 川崎市文化財団

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647

後援「音楽のまち・かわさき」推進協議会

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、新型コロナウイルスの影響により、日時・内容・出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。



定期能をより楽しむための事前講座

演目や能について能楽師が実演つきでわかりやすく解説します。

◆日時:2020年11月21日(土)10:00~11:30

◆会場:川崎能楽堂

◆講師:角当直隆(観世流梅若会・シテ方)

伶以野陽子(観世流梅若会・シテ方)

◆定員:148席(先着順)

◆料金:無料

*第121回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。 *受講をご希望の方にはチケットご購入の際に整理券をお渡しいたします。

狂言 墨塗

シテ大名 三宅 右近

アド太郎冠者 三宅 右矩
小アド女 三宅 近成

子方牛若丸 角当 美織
トモ弁慶の従者 土田 英貴

能 橋弁慶

アイ土地の男 三宅 近成

大鼓 大倉慶乃助
小鼓 田邊 恭資
笛 小野寺竜一

後見 松山 隆之
山中 逐晶
地謡 内藤 幸雄
坂口 貴信
谷本 健吾
永島 充
鈴木 啓吾
遠藤 喜久

狂言 墨塗【すみぬり】

訴訟を済ませ帰国することになった大名（シテ）が、太郎冠者（アド）を伴って、愛人（小アド）のもとに暇乞いに行きます。女は涙を流して悲しみますが、実は目元に水を付けて泣いているふりをしていたのです。太郎冠者はそれに気付いて大名に注進しますが、別れに浸って耳を貸そうとしないので、こっそり水と墨を取り替えます。すると泣いていた女の顔が黒くなったので、大名も女の本心を知ることになり、女に形見の品を渡すと……。

能 橋弁慶【はしべんけい】

武蔵坊弁慶が、五条天神へ丑の刻詣に行こうとしていると、従者に五条の橋に小太刀で人を切つてまわる少年が出るからと、今夜の参詣を止められます。従者の「目にも止まらぬ早業で多分、人間ではなく化生の者。近寄れば殺されます。」の言葉に、弁慶は一度は思いとどまりますが、聞き逃げは無念とかえって討ち取る決心を固めて、五条大橋へ出かけて行きます。

橋の近くでは、化生の者にあつたという人が逃げてきて、馴染みの人にその恐ろしかった話をしますが、かえってその臆病ぶりをからかわれます。一方、五条橋では、明日からは鞍馬山へ上ることになった牛若丸は、今夜を名残りとして橋に出て、通る人を待ちかまえます。

そこへ、鎧に身をかため、大長刀を肩にした弁慶がやってきますが、牛若を女と思ひ、通りすぎようとすると、牛若は弁慶の長刀の柄を蹴り上げます。怒った弁慶は、牛若に斬りかかりますが、牛若の秘術に悩まされ、長刀も打ち落とされます。とうとう弁慶は降参し、牛若と主従の契りを結んで、九条の邸へとお供します。

狂言 清水

シテ太郎冠者 三宅 近成

アド主 三宅 右矩

ツレ團三郎 山崎 正道
ツレ鬼王 小田切康陽

ツレ曾我五郎時致 角当 直隆
シテ曾我十郎祐成 梅若 実

能 夜討曾我

アイ 金田 弘明

大鼓 大倉慶乃助
小鼓 田邊 恭資
笛 小野寺竜一

ツレ吉屋五郎 山中 逐晶
ツレ五郎丸 川口 晃平
立衆綱取 小田切亮磨
立衆綱取 山崎 友正

後見 遠藤 喜久
奥川 恒治
地謡 内藤 幸雄
谷本 健吾
松山 隆之
永島 充
伊藤 嘉章
鈴木 啓吾

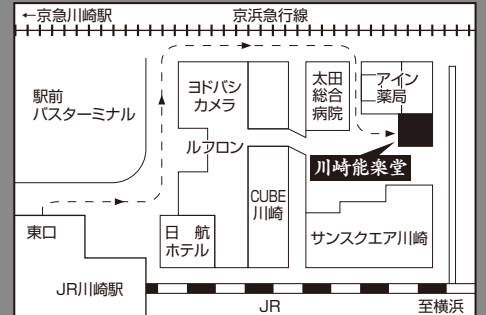
狂言 清水【しみず】

主人（アド）から、茶の湯で使う水を野中の清水へ汲みに行くように命じられた太郎冠者（シテ）は、行きたくないのに、鬼に襲われたふりをして帰ってきます。主人は冠者が置いてきてしまった秘蔵の手桶を惜しがり、みずから清水へ行くと言いつ出したので、冠者は先回りし、鬼の面をかぶって主人を脅します。あわてて逃げ出した主人ですが、鬼が冠者を鼻唄したことや、鬼の音が冠者と同じであったことを不審に思い、再び清水に出かけて行きますが……。

能 夜討曾我【ようちそが】

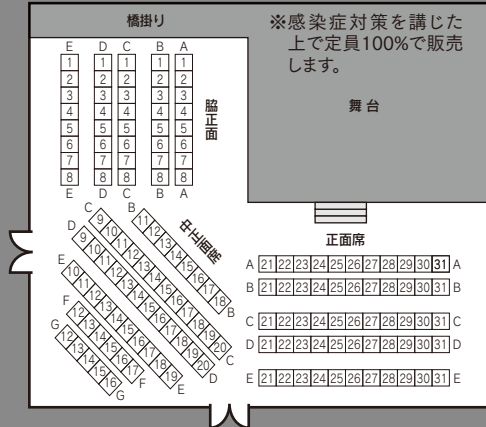
曾我十郎・五郎兄弟は、頼朝が催す富士の裾野の巻狩に赴き、父の仇である工藤祐経を討つことを決心します。しかし、このことを知らない故郷の母を想った兄弟は、従者の團三郎・鬼王へ形見の品を届けるよう命じます。團三郎・鬼王は最後まで共にしたいと懇願しますが、曾我兄弟の説得により、形見の手紙と守りを持って故郷へと帰ります。

その夜、兄弟は工藤の宿所に討ち入り本望を遂げますが、十郎と離れた五郎は兄の死を察します。古屋五郎などの大勢に囲まれ、奮戦する五郎でしたが、女の薄衣をかぶり待ち伏せていた五郎丸に不覚を取り、取り押さえられ、生け捕りにされてしまいます。



JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂座席表(148席)



※U25券は脇正面席・中正面席のみ選択可。

次回公演のお知らせ

野村万蔵による芸能サロン
～狂言を楽しもう～

2021年1月11日(月・祝)14:00開演
お話 野村万蔵
狂言 「仏師」野村万之丞
狂言 「木六駄」野村万蔵
チケット発売日:12月4日(金)より川崎能楽堂にて
発売予定(先着順)

第122回川崎市定期能
～金春流～

2021年3月20日(土・祝)
[第一部] 狂言「未定」
能「熊坂」辻井八郎
[第二部] 狂言「未定」
能「井筒」本田光洋

※日時、内容等変更になる場合がございます。予めご了承ください。